

岸田政権の「原発依存社会」への暴走を許すな！

若狭の原発を考える会 木原壯林

皆様には、上関原発計画の白紙撤回、原発全廃を目指してご奮闘のこと、ありがとうございます。また、「老朽原発・高浜 1、2 号機、美浜 3 号機うごかすな！」の行動に格段のご助力をいただき、感謝申し上げます。

さて、原発は現在科学技術で制御できる装置でないことを、発生から 12 年を経た福島原発事故が、大きな犠牲の上に教えています。

それでも、岸田政権は昨年来、炭酸ガス削減やウクライナ紛争に因るエネルギーひっ迫を口実にして、「原発推進」を、自民党のポスターにあるように「決断と実行」しようとしています。「原発依存社会」への暴走です。

岸田政権は、原発の停止期間を運転期間から除くことによって、既存原発の 60 年超え運転への道を開こうとしています。運転期間は最大 60 年とした法律を骨抜きにし、踏みにじるものです。

岸田首相がいかにも願望しようとも、原子炉システム、原子炉材料、放射性廃棄物の処理処分、安全対策などの科学・技術が急に進歩することはありません。政治的な判断で原発の安全性が急に向上することはありません。岸田政権の「原発依存社会」への暴走は、原発推進企業と「原子カムラ」を救済するためであり、福島原発事故の犠牲と教訓を軽んじるものです。

なお、原発を 60 年以上運転した経験は、世界にもありません。世界で最も長く運転されている原発でも、運転期間は 53 年です。地震、火山噴火、津波の多発する日本での、原発 60 年超え運転は、無謀で、人々を冒涇するものです。。

一方、岸田政権は、一昨年 10 月に決定した「エネルギー基本計画」では「原発の新增設や建て替えは想定しない」としていたにも拘らず、決定から 1 年も経ない昨年 8 月 24 日、廃炉になった原発の代わりに革新型原子炉、新型小型原子炉を建設する方針に転換しました。これらの原子炉は、過酷事故の危険性や何万年もの保管を要する使用済み核燃料を残す点では、従来の大型原子炉と変わるところがありません。「革新」や「小型」の言葉遊びで人々をだまそうとしているのです。

そもそも、岸田政権の「原発依存社会」への暴走は、福島原発事故以降の政権が、事故の教訓を生かさず、原発維持にこだわり、自然エネルギーへの全面切り替えを怠った結末です。失政のつけです。日本は、太陽光にも、水にも、風にも、地熱にも恵まれています。もし、先見の明がある政権であったなら、原発に費やされた税金や電気料金を、自然エネルギーを利用する電源、大容量の蓄電法、省エネ機器の開発と普及に回し、今頃、核燃料、化石燃料など必要のない社会を実現し、世界をリードしていたでしょう。岸田首相は、何よりも先ず、このことを反省し、脱原発社会をめざすべきですが、それができないのは、岸田政権が「原子カムラ」や原発推進で莫大な利益を上げる大企業の代弁者であるからです。

ところで、年夏の酷暑の中でも、この冬の厳寒の中でも、電気は足りています。余っています。一時的な電力ひっ迫はあっても、節電によって乗り切れます。一時的な電力逼迫回避のために、負の遺産・使用済み核燃料を増やし、過酷事故を起こしかねない原発の運転を許してはなりません。

以上のように、政府や電力会社は、原発の 60 年超え運転と新增設を通して「原発依存社会」を作ろうとしています。原発過酷事故の確率が急増します。許してはなりません

原発の「40 年超え運転」を認めず、新設を阻止すれば、最悪でも、2049 年に全国から稼働可能な原発が無くなり、原発過酷事故の心配のない安心、安全な社会を実現できます。

私たちが結集する「老朽原発うごかすな！実行委員会」は、運転開始後 46 年を超え、トラブル続きの老朽原発・美浜 3 号機の運転を止めさせ、関電が 6、7 月に目論む、48 年、47 年超えの老朽原発・高浜 1、2 号機の再稼働を阻止し、それを突破口に、原発全廃の大世論を形成し、岸田政権の野望を葬り去りたいと、決意を新たにしています。

具体的には次の行動を提案しています。

第 1 は、来る 3 月 21 日に関電本店前で全国集会を開催した後、それを旅立ちとして、琵琶湖の東を回って 4 月 2 日に高浜原発に至る 230 km リレーデモです。

第 2 は、4 月 29 日に、原発立地高浜で行う「関電よ老朽原発うごかすな！高浜全国集会」です。

第 3 は、岸田政権の「原発推進」の不当性を暴露し、批判する「岸田政権の原発回帰への暴走を許さない！学習・討論会」の関西各府県での開催です

第 4 は、『岸田政権の「原発依存社会」への暴走に NO！を』と題するチラシの広範な配布です。このチラシは、ご連絡いただければ、お送りいたしますので、配布をお手伝い頂ければ幸いです。

原発がなければ、過酷事故はおきません。軍隊がなければ、戦争は起きません。原発も、軍隊もない、人の命と尊厳が大切にされる社会を展望しましょう！